

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年3月20日

（あて先）

さいたま市長

所 在 地 さいたま市緑区芝原 2-16-21

団 体 名 特定非営利活動法人

都市づくりエヌピーオーさいたま

代表者氏名 中津原 努

令和4年10月3日付け市市協第4 30号で交付決定の通知を受けた令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（~~一般助成事業・団体希望助成事業~~）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 交付決定額 | 金 265,500 円 |
| 2 精算額 | 金 265,500 円 |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |

（1）支出を証する書類

（2）事業の成果物、写真、その他事業に関する資料



令和4年度マッチングファンド団体希望助成事業実施報告書


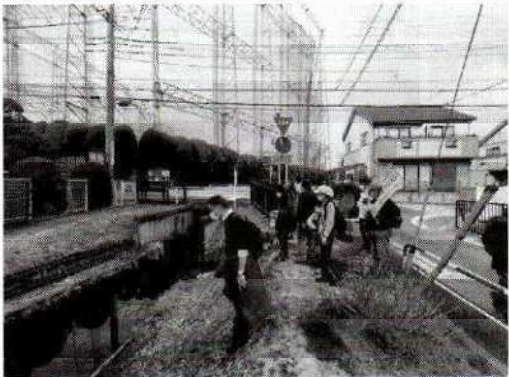
団体名	特定非営利活動法人都市づくりエヌピーオーさいたま
-----	--------------------------

事業名称	都市づくりNPOさいたま 創立20年プロジェクト
実施期間	令和4年10月～令和5年3月末
総事業費	354,296円（内訳は別添事業収支計算書参照）
内 助成金交付申請額	265,500円
事業の目的	<p>*計画書の「1現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください</p> <p>都市づくりNPOさいたまは、さいたま市を中心とする地域で、市民と行政の協働によるまちづくりの推進をミッションとして20年活動してきた。しかし、まだまだ社会的認知は不十分と思われ、そのため、事例等を中心とした協働によるまちづくりに関する分かりやすい情報発信をすることで、市民、行政の関心を高める。</p>
事業の実績	事業の具体的な内容
	いつ ①2022年11月下旬 ②2023年2月19日
	どこで ①さいたま市内 ②浦和コミュニティセンター第14集会室 及び、岩槻まちなか、見沼たんぼ、こうぬま河童の森周辺
	だれに まちづくりに関心のあるさいたま市民や行政関係者
	なにを ①冊子「つくたまの20年 市民主体のまちづくり」 ②つくたま設立20周年記念ワークショップ 「市民主体のまちづくりを考える」&エクスカーショ
	どうした ①配布した ②現地見学と意見交換のワークショップを実施した
	（詳細な内容）別紙のとおり
	成果
	<p>*事業の結果を表す数値を記載ください（例：参加人数等）。</p> <p>①1,000部制作し、つくたま関係者の他、まちづくりに取り組む市民団体や個人、さいたま市役所各部署、埼玉県庁各部署、大学、UR都市再生機構などに約600部配布済み。残部は今後の法人の活動の中で配布予定。</p> <p>②浦和コミュニティセンター会場参加44名。 （法人スタッフ8名、連携まちづくり団体ゲスト2名（参加費無料）を含む） 岩槻まちなかエクスカーショ参加7名（法人スタッフ2名含む） 見沼たんぼエクスカーショ参加14名（法人スタッフ2名含む） こうぬま河童の森エクスカーショ参加12名（法人スタッフ2名含む）</p>
	効果
	<p>*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。</p> <p>まちづくりに市民が主体的に参加することの重要性と、まちづくり中間支援組織の役割に関する認識と期待が広がった。ワークショップの意見交換においては、かつての区民会議に代わる地域単位のまちづくりについて、市民と行政が協働するまちづくりプラットフォームのような仕組みの必要性を確認できた。</p>
事業の評価	<p>*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>①の冊子づくりにおいては、とすれば専門的で身近なことから捉えられにくいまちづくりに、市民が主体的に参加するための導入になるような内容と書きぶりに留意した。今後は、より多くの人に手渡し読んでもらうための継続的な活動が課題となる。</p> <p>②のワークショップでは、冊子のページ構成に合わせた論点を立てつつ、現地見学のエクスカーショも合わせて実施し、具体的なまちづくり活動を紐解きつつ、現状のさいたま市における市民参加のまちづくりの課題を話し合えるように工夫した。参加者の募集においてはWEBやSNS発信、口こみでのお誘いに力を入れ、事業計画時の20名を大きく上回る44名の参加を得て活発な議論ができた。</p>
今後の展開	<p>*事業を実施したことにより、今後の団体の活動に、どのように活かせるか、もしくは展開できるかを記載してください。</p>

現在、都市づくり NPO さいたまでは、岩槻まちづくりマスタープランに基づく「まちづくりプラットフォーム」の設立に関する業務に取り組んでいる。

その業務を柱としつつ、広くさいたま市内で活動するまちづくり団体と連携し、市民と行政の協働、さらには官・学・民連携のまちづくりに積極的に取り組んでいきたい。その過程において、今回制作した冊子もフル活用をしていく。

- ・つくたまの活動で出会うまちづくり関係者への継続的な配布による周知拡大
- ・冊子をテキストとした勉強会やフォーラム、トークセッション等の開催
- ・冊子で取りあげた論点に基づくまちづくり活動の呼びかけや市民参加の仕組みづくりの研究
- ・他団体や行政との協働を働きかける際のプレゼンテーション資料としての活用
- ・次の 5 年、10 年を経過した後に今回の冊子を下敷きにあらためて成果と課題を振り返り整理する取り組みのスタートライン設定

事業の内容	
実施時期	実施内容
R4 年 10 月～11 月	①冊子「つくたまの 20 年 市民主体のまちづくり」の企画、取材、編集デザイン、印刷を進める
R4 年 11 月 22 日	①冊子冊子「つくたまの 20 年 市民主体のまちづくり」の完成 都市づくり NPO さいたま総会にて報告・発表、会員に配布
R4 年 11 月～	①冊子「つくたまの 20 年 市民主体のまちづくり」の各方面への配布
R5 年 2 月 19 日	<p>②つくたま設立 20 周年記念ワークショップ「市民主体のまちづくりを考える」&エクスカーションの開催</p> <p>[見沼田んぼ・エクスカーション> 会場コース]</p> <p>集合：浦和駅中央改札口 12時40分～バス移動</p> <p>見沼区見山地区（※認定NPO法人水のフォルムの活動地）</p> <p>[河童の森・エクスカーション> 会場コース]</p> <p>集合：南与野駅改札口前 13時</p> <p>南与野駅西口区画整理地区～高沼用水東縁～与野南小学校付近～河童ぶち公園予定地～河童の森</p> <p>[岩槻・エクスカーション> 会場コース]</p> <p>集合：岩槻駅改札口前 13時</p> <p>岩槻駅を中心に、「岩槻ガイドツアーでは歩かないところ」をまちあるき</p>
	 

[浦和コミュニティセンター第14集会室におけるプログラム：16時～18時30分]

<プログラム>

1. 開会・挨拶
2. 記念誌の概要説明と本、プログラムの説明
3. エクスカーションの報告
4. 全体意見交換①「まちづくりへの市民参加の促進や政策提言」について
5. 全体意見交換②「まちづくり人材育成や交流・ネットワーキング活動」について
6. 全体意見交換③「テーマ別まちづくり課題への取組」について
7. まとめと提言

つきたま20周年記念ワークショップ『市民主体のまちづくりを考える』

2023年2月19日(日)16時～18時
浦和コミュニティセンター 第14集会室

議題① まちづくりの市民参加の促進や政策提言について
→市民参加の促進や政策提言の重要性について
① 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
② 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
③ 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。

議題② まちづくり人材育成や交流・ネットワーキングについて
① まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について
② まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について
③ まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について

議題③ テーマ別まちづくり課題への取組について
① テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について
② テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について
③ テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について

④ 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
⑤ 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
⑥ 市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。
→市民参加の促進は、まちづくりの重要な要素である。

⑦ まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について
⑧ まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について
⑨ まちづくり人材育成の重要性について
→まちづくり人材育成の重要性について

⑩ テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について
⑪ テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について
⑫ テーマ別まちづくり課題への取組について
→テーマ別まちづくり課題への取組について



R5 年
3 月

2 月 1 9 日開催のシンポジウム参加者アンケート結果まとめ

<参加者アンケート (n=7) >

○イベントに参加した動機を教えてください

- ・岩槻の街と歴史に関心がある
- ・誘っていただいたので
- ・学生の時に前身の団体の活動を授業で学びました。その後 20 年を経た「つくたま」らしい「市民が主役」というタイトルと多様なアプローチ (3 つの FW) への興味から
- ・なかなか企画側に労力を割くことが出来ない状況で、せめてイベントには参加したかったので
- ・つくたまの 20 年を振り返りこれからの活動を考える企画だったため
- ・さいたま市のまちづくりや市民活動、つくたまのことを知りたいと思っていた時に、タイミングよく声をかけていただき、ぜひ参加したいと思いました。

○エクスカージョンの感想を教えてください

- ・岩槻の歴史とかつて岩槻の人が行った街づくりに感銘したが、さいたま市と合併した結果街の良さが減り、特徴のない街に変貌しつつあることが残念だった。地元で縁のない行政担当者が定期的に入れ替わる結果、地域に愛着を持たない人間が行う広域行政の問題点に気づいた
- ・さいたま市民でも全然知らなかった取り組みを知る機会となり、とても良かったです
- ・土地に関わり土地への愛着のある人のガイドでまちを歩くことで見えてくるまちの状況というものがあると改めて感じるとともに、近年になっても続く近代都市計画の光と影を見る思いがした。
- ・知っている場所でも知識と経験のある方のお話とセットになると全く違った景色に見えて来ました。とても良い経験になりました。
- ・見沼田んぼの斜面林がキクイムシにより立ち枯れしつつあり、皆伐と植林で対応しようとしている現実に驚いた。
- ・遅れてしまいましたため現地でのお話はうかがえなかったのですが、その場所のポテンシャルといいますが、手入れされ、いかされている場のエネルギーが感じられるような気がしました。斜面林だけでなく、まわりの農地も含めて丁寧な人の手が感じられる場所でした。(エクスカージョンの感想でなくてすみません)

○会場ワークショップの感想を教えてください

- ・案内者の専門的解説で街をよく理解でき面白かった
- ・さいたまで精力的に活動している方々からの、正直でざっばらんな意見の交換があり、多様な「まちづくり」への参加の仕方と、その意味を考える時間となった。
- ・様々な方のお話が聴けてとても有意義でした。藤原さんのエネルギーに出会えて良かったです。
- ・つくたまの 20 年の活動がまちづくりの専門家たちによるかなりきっちとした活動であったことが理解できた。もう少し若い人たちの発言を引き出せればと感じた。
- ・とても有意義な時間でした。特に、見沼田んぼの活動と地元の方との関りや、「まちづくり」に対して「まちづいか」という言葉でより土地に根差したお話をうかがえたことが印象的に残りました。

○今回のイベントの感想や、つくたまへのご意見などがありましたら、ご記入ください

- ・同様の街探訪イベントをしてほしい
- ・具体的なフィールドを経た上での思考の時間という贅沢なカリキュラムで、普段見えない方々もご参加だったように思います。継続的なまちづくり活動の重要性を改めて感じました。
- ・少しでも力になれるように頑張ります笑。

R5 年
3 月末

- ・市民の街に関わる取組を専門家が支援するつくたまの役割は重要です。特に公民連携の取組を若い人も含め多様な世代で共に進められると良いと思う。
- ・初めて参加させていただきましたが、漠然と描いていたイメージ以上に、つくたまの裾野の広さ、様々な関わりと層の厚さ、みなさまの熱意に触れられた 1 日でした。ありがとうございました。岩槻でのシンポジウムや 20 日のつくたま塾もとても興味深いのですが、年度末で参加できず残念です。

報告書の作成と提出

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区 分		算出根拠	金 額
収入合計 (A)		(a) + (b)	354,296
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	88,796
団体の自己資金	① 自己資金		42,796
	②		
	③		
費用の徴収	④ 有志会員協力金 （冊子買取相当額として）		0
	⑤ 記念イベント参加会費	会費 1,000 円×34 人分	34,000
	⑥ 記念イベントに伴う寄付金	3,000 円×4 口	12,000
助成金交付申請額 (b)		(c) と同額	265,500

<支出>

区 分		算出根拠	金額
支出合計（総事業費） (B)		(c) + (d)	354,296
助成対象経費のうち 助成金限度額を上回らない経費	① 印刷製本費	デザイン制作費 265,500 円 (消費税込 275,000 円のうち)	265,500
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	265,500
助成対象経費のうち 助成金限度額を上回る経費	⑪ 印刷製本費	デザイン制作費 275,000 円のうち 助成金額を上回る 9,500 円分 +印刷費 35,730 円 (税込)	45,230
	⑫ ページとりまとめ担当者謝金	見開き 2 頁あたり 5,000 円 ×6 人・式	30,000
	⑬ 原稿執筆ないし取材対応謝金	計 2 名	5,000
	⑭ Peatix 手数料	決済処理費用+振込手数料	6,226
	⑮ 使用料	浦和コミュニティセンター	2,340
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑮の合計 (a) と同額	88,796

※ (A) = (B)、(a) = (d)、(b) = (c) になるように記入してください。